

料金別納郵便



陶工房 旂^{ゆう} 食のうつわ展 VI

令和8年10月23日(金)~28日(水) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時(最終日28日は午後5時まで)

作家在廊日：23日(金)~26日(月)/陽作、26日(月)~28日(水)/周作

■霜降の茶会のご案内【席主：金重周作・陽作】

日時：10月26日(月) 11時、13時席入

場所：新宿 京懐石 柿 傳(東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビル) 会費：7,000円(税込)

受付・寄付「安与ホール/7階」→薄茶席「残月亭/9階」→点心席「古今サロン/6階」

申込：参加ご希望の方は、下記のお電話かメール又は下の二次元コードからお申し込み下さいませ。

陶工房 旂：金重周作(昭和53年生)・金重陽作(昭和55年生)

早いもので、弊廊での陶工房 旂 食のうつわ展も六回目を迎える事になりました。これもひとえに皆様のお陰であると、心よりの感謝を申し上げます。陶工房 旂(旧・旂工房)は、備前焼の名工、金重有邦先生のご子息である、周作さん陽作さんのご兄弟と、お弟子の斉藤理さんの三人で、15年前に立ち上げられた備前焼の工房です。その場所は、言わずもかな備前市伊部の風光明媚な山裾にあります。先年、斉藤さんは独立され、現在は、ご兄弟二人で、仲睦まじく制作に勤しまれています。二人も半白の歳に近づき、自分も歳を取るわけだと、時の流れを感じております。

その作品は、備前手のものから、唐津手、象嵌や掻き落としの技法を駆使したものなど多岐にわたります。彼らのロクロの技も冴え、心地よい重さで耐久性も高く、我が家でも二人のうつわは大活躍で、いつも食器棚の手前に置いています。他方、茶の湯のうつわについても、茶陶で名高いお父様の風を正統に受け継かれ、茶味あふれる作品をお求めやすい価格で発表しています。そして、前回、ご好評を頂いた二人による茶会も上記の通り開催致します。こちらもご参加を頂ければ嬉しゅうございます。もちろん私も水屋でお手伝いをさせていただきます。

閑話休題。弊廊で三年ぶりとなる本展では、裏面の様な200点ほどの最新作を発表致します。どうぞお手に取り、二人に忌憚のないご指導を頂ければ幸いです。私は神無月に彼らを訪ねて備前市に向かいます。今からご兄弟との再会を楽しみにしている所でございます。店主 安田尚史

柿傳ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com

10/26 茶会
申込ページ



